

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

# WAVE

リンテックウェーブ

*Linking  
your  
dreams*

MARCH 2022

# 86

第128期  
(2022年3月期)  
第3四半期  
決算情報

証券コード：7966

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

リンテックのシール・ラベル用  
粘着製品と環境配慮に向けた  
取り組み



### チェongsu 濟州島

韓国の南端に位置する同国最大の島。奥に映る「城山日出峰」は海底噴火によってできた岩山で、この島のシンボルの一つ。菜の花も有名で、春には各所に黄色い絨毯が広がる。

## 目次

### 2 連結業績推移

### 3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員

服部 真

### 4 スペシャルレポート

リンテックのシール・ラベル用  
粘着製品と環境配慮に向けた  
取り組み

### 8 トピックス

### 9 新聞広告シリーズ

### 10 決算情報

### 12 セグメント情報

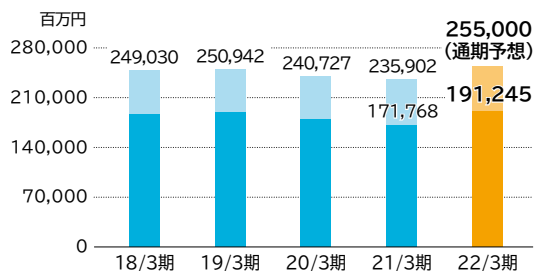
### 15 株式情報

#### (免責事項)

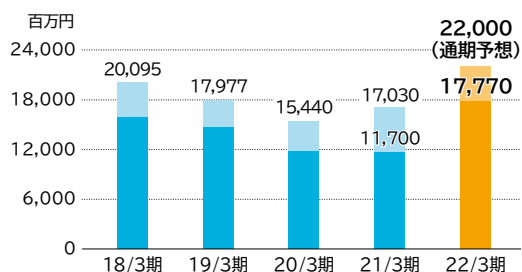
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 連結業績推移

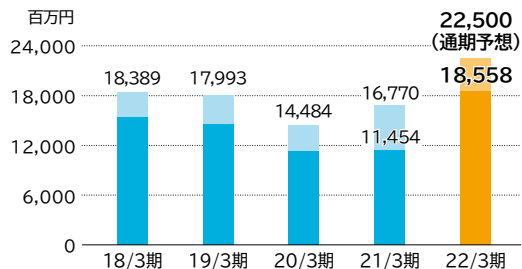
### 売上高



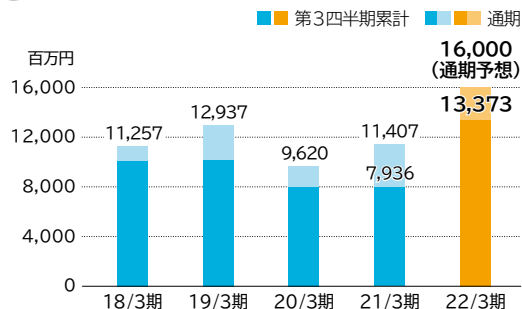
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## 株主・投資家の皆様へ

▶ 2022年3月期第3四半期連結累計期間 (前年同期比)

売上高

**191,245**百万円 (11.3%増)

営業利益

**17,770**百万円 (51.9%増)

経常利益

**18,558**百万円 (62.0%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

**13,373**百万円 (68.5%増)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2022年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品が引き続き旺盛な需要に支えられ好調に推移したことに加え、そのほかの製品についても需要が回復したことにより総じて堅調に推移し、増収増益となりました。

通期の見通しにつきましては、当第3四半期において半導体・電子部品関連製品が想定を上回って推移したことなどから、昨年11月に続いて再度、業績予想を上方修正いた



はっとり まこと  
代表取締役社長  
社長執行役員 **服部 真**

しました。それを踏まえて期末配当金を当初予想の1株当たり39円から49円に増額いたします。これにより、年間配当金は中間配当金39円と合わせて88円となります。

現在推進中の中期経営計画では、最終年度である2024年3月期の経営目標として売上高2,550億円、営業利益210億円を掲げていますが、これを初年度で達成できるものと予想しております。今後もさらなる業績向上を目指してまいりますので、株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

	2022年3月期連結業績予想			2021年3月期
	当初予想 (2021年5月発表)	前回修正予想 (2021年11月発表)	今回修正予想 (2022年2月発表)	実績
売上高	2,400億円 ▶	2,550億円 ▶	<b>2,550億円</b>	2,359億 2百万円
営業利益	175億円 ▶	210億円 ▶	<b>220億円</b>	170億30百万円
経常利益	175億円 ▶	215億円 ▶	<b>225億円</b>	167億70百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	125億円 ▶	150億円 ▶	<b>160億円</b>	114億 7百万円



# リンテックのシール・ラベル用 粘着製品と環境配慮に 向けた取り組み



当社グループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」を掲げ、脱炭素社会・循環型社会の実現への貢献を目指しています。今号では当社グループの主力製品であるシール・ラベル用粘着製品とその環境配慮に向けた取り組みについてご紹介します。

## 身近なところで活躍するシール・ラベル

シールやラベルには商品の名前や内容を表示するのはもちろん、店頭で商品を目立たせる機能や商品使用時の注意書き表示、さらには宅配便の宛名表示やバーコードによる情報管理など、さまざまな用途と役割があります。食品や日用品をはじめ自動車や家電、物流・流通、医療・医薬など幅広い業界で欠かせない存在となっており、私たちの暮らしを身近なところで支えています。



食品関連



日用品関連



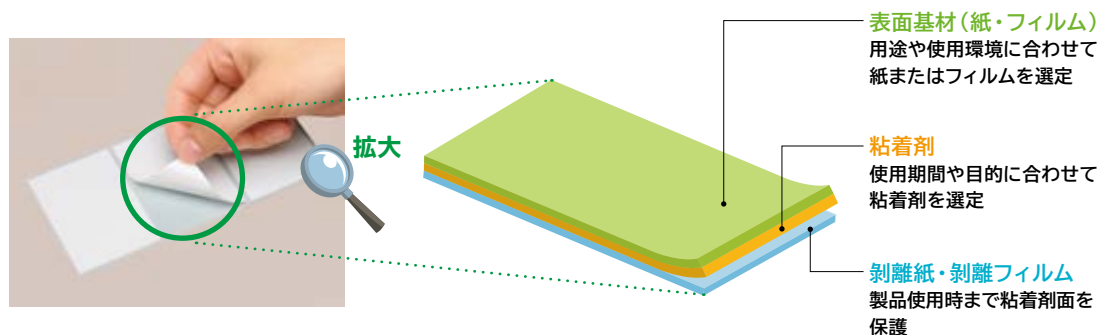
自動車関連



物流・流通関連

## シール・ラベル用粘着製品の基本構成

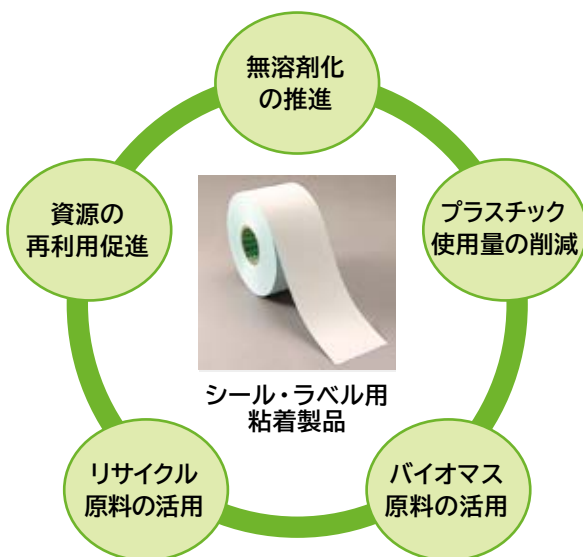
シール・ラベル用粘着製品とは、シールやラベルとして印刷・加工される前の無地の粘着紙・粘着フィルムのことです。基本的には表面基材（紙・フィルム）と粘着剤、剥離紙・剥離フィルムという3層で構成されています。当社ではそれぞれの層において用途や使用環境などの条件に合わせた材料を提案し、最適な組み合わせの製品を提供。さらに長年の実績で培われた高い品質と市場のさまざまなニーズに迅速に対応することで、リーディングカンパニーとしての地位を確立しています。



## 環境配慮ニーズが拡大するシール・ラベル市場

温室効果ガスによる地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染の深刻化を受け、社会全体で環境への意識が高まってきており、シール・ラベル用粘着製品に対しても環境配慮ニーズが拡大しています。当社グループではその対応として製造工程における環境負荷の低減を図り、植物などに由来するバイオマス原料やリサイクル原料の活用、さらには各種容器をはじめとするラベルを貼った対象物の再利用や再利用まで考慮した製品の開発・提案にも積極的に取り組んでいます。

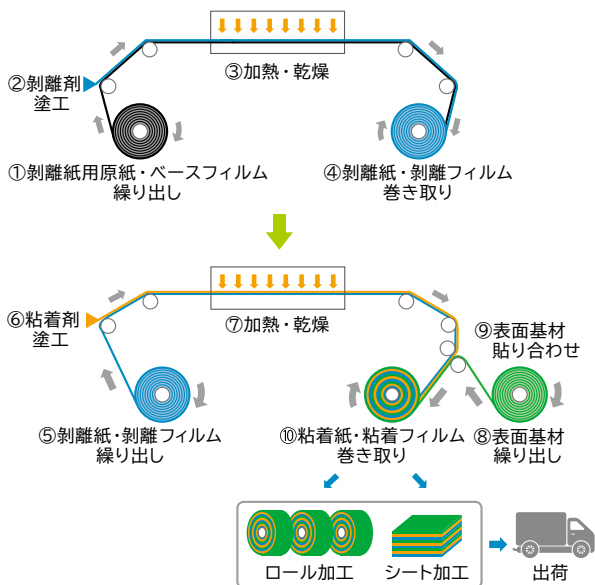
### ■ リンテックの環境配慮への主な取り組み



## 無溶剤化への取り組み

シール・ラベル用粘着製品は、まず紙やフィルムに剥離剤を塗工して剥離紙や剥離フィルムをつくり、その上に粘着剤を塗工してから表面基材を貼り合わせます。通常の剥離剤や粘着剤は石油由来の有機溶剤で希釈してから塗工し、加熱・乾燥させますが、揮発した溶剤を燃焼処理する際にCO<sub>2</sub>が排出されます。そのため当社では、水で希釈するエマルジョン型の剥離剤・粘着剤や、海外で多く使われている熱で溶かして塗工するホットメルト型粘着剤などの採用により、無溶剤化を推進しています。

### ■シール・ラベル用粘着製品の製造工程



## 環境配慮製品のラインアップを拡充

CO<sub>2</sub>排出量の削減や海洋汚染防止の観点から、石油由来のプラスチックやフィルムの使用をやめたり、減らしたりする「脱プラ」「減プラ」の動きが世界中で広がっています。当社では耐水性が必要な商品の表示ラベルとして使用される粘着フィルムの代わりに、水にぬれても破れにくい耐水紙を表面基材に採用したシール・ラベル用粘着紙を開発。また、バイオマス原料を配合した粘着剤の開発・採用拡大やフィルム基材の薄型化などにより、脱プラ・減プラを推進しています。

そのほか、使用済みペットボトルをリサイクルしてつくられる再生PET樹脂を利用した粘着フィルムや、商品の容器を回収した後に弱アルカリ温水で洗浄するとラベルがきれいに剥がせ、容器の再使用を促進するラベル素材など、さまざまな環境配慮製品をラインアップしています。



特殊紙製造技術を生かした耐水紙の採用によって脱プラを実現



洗瓶工程でラベルが簡単に剥がせ、飲料瓶の再使用を促進

## インタビュー

シール・ラベル用粘着製品のマーケティングを担う印刷・情報材事業部門の市場開発室長に、当社の環境配慮製品に対する市場の反応などについて聞きました。

### 多様な環境ニーズを捉え、新市場を開拓

当室では一般消費者向け商品のメーカーからニーズを収集して製品提案を行っているほか、これまでシールやラベルが使われてこなかった分野の開拓にも積極的に取り組んでいます。環境配慮製品のニーズは年々高まっており、再生PET樹脂を利用した粘着フィルムなどもかなり市場に浸透してきたと感じています。また、昨年12月に出席した国内最大級の環境関連展示会では、容器回収後の洗浄工程で簡単かつきれいに剥がせるラベル素材が容器の循環利用の観点から好評でした。今後も多様な環境ニーズを捉え、製品の品質や機能性をさらに向上させて新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。



ペットボトルからつくられた再生PET樹脂を表面基材の原料に使用した粘着フィルムの用途例



事業統括本部  
印刷・情報材事業部門  
市場開発室長  
やまもと たかし  
**山本 貴司**

### 関連情報 米国に新会社を設立

この2月に米国粘着製品メーカーの事業を約46億円で譲り受け、新たにスピネカー社を設立しました。同社は環境負荷の少ない無溶剤の粘着塗工方式で、粘着シートや多品種・少量生産に対応したロールラベル用粘着製品を製造しており、当社の米国子会社で一般ラベル用粘着製品を大量生産するマックタック・アメリカ社の傘下に入ります。当社グループでは市場の異なる両社の強みを生かすことで、北米市場でのシェア拡大と収益性の向上を図っていきます。



#### ● スピネカー社の概要

社 名：Spinnaker Pressure Sensitive Products LLC  
所 在 地：米国 オハイオ州  
事業内容：シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルムなどの製造・販売  
資 本 金：2,000万USドル  
設 立：2022年2月1日



## トピックス

### 積層セラミックコンデンサ関連テープの生産能力を大幅増強

近年、テレワークの拡大や高速通信規格「<sup>ファイブジー</sup>5G」、電気自動車（EV）の普及などで、電子部品の需要が大幅に増加しています。当社では電子部品メーカー各社の積極的な設備投資計画を受け、積層セラミックコンデンサ関連テープの生産拠点である土居加工工場（愛媛県）と熊谷工場（埼玉県）への増産投資を決定。総額約200億円を投じて、2025年3月までに新工棟の建設と新設備導入を順次進めていく計画で、自動化・省人化や省エネルギー、CO<sub>2</sub>排出量の抑制などにも配慮した生産体制を構築します。今後も成長市場への高品質製品の安定供給に向けて、積極的な投資を展開していきます。



熊谷工場の既存工棟

#### ● 積層セラミックコンデンサ

電気を蓄えたり電流を整えたりする機能などを持つ1mm角にも満たない大きさの電子部品で、高性能スマートフォンには約1千個、EVには約1万個搭載。内部に積層される厚さ千分の1mm以下のセラミックシートに当社のテープが使用されており、0.25mm角以下の極小コンデンサの製造にも対応しています。



### 紙工作を楽しめるウェブコンテンツを公開しています

1964年に販売を開始した当社色画用紙「ニューカラー Rシリーズ」は、豊富な色数と図画工作に適した紙厚や強度、風合いが特徴の国内トップブランドです。同シリーズの魅力を多くの方に知っていただくため、当社ではさまざまな特殊紙を紹介する特設ウェブサイトに、色画用紙を使った紙工作作品のコンテンツを設けています。NHK Eテレの幼児向け番組内でコマ撮りアニメーションの美術造形などを手がけるやました ともえ山下 知恵氏監修の下、各季節のイベントに合わせた作品を随時掲載。作品制作用の型紙をダウンロードすることもでき、小さなお子様のいるご家庭や教育現場にぴったりのコンテンツになっています。



動画や写真で作り方を分かりやすく紹介

スマートフォンなどで右記の二次元コードを読み取ると、特殊紙の特設ウェブサイトに簡単にアクセスできます。



[www.specialty-papers.com](http://www.specialty-papers.com)





# リンテック流 名言・格言集

皆様の暮らしを豊かにする当社の製品や技術などをイメージした“リンテック流”のオリジナル名言・格言と、目を引く偉人風のシルエットを組み合わせて表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】 日本経済新聞、讀賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報

リンテック流  
名言・格言集

容易に見える  
物事にこそ  
学び取るべき  
知恵がある

空気が入っても簡単に押し出せて  
きれいに貼れるラベル素材

リンテック株式会社

## 1月 January 掲載広告

当社では、空気が入っても簡単に押し出せてきれいに貼れる独自の粘着剤設計を採用したラベル素材を開発。粘着剤層に形成された溝から空気を外に出す仕組みで、浮きや膨れが発生しやすいプラスチック成形品に貼るラベルや大判の表示ラベルなどに適しています。

リンテック流  
名言・格言集

僅かな好機を  
どう生かすか  
それが飛躍の  
鍵となる

太陽光を効果的に反射・拡散させ  
室内を明るくする省エネ・採光フィルム

リンテック株式会社

## 2月 February 掲載広告

窓ガラス全面に貼ることで、直射日光が入らず暗くなりがちな部屋でも明るくできるのが当社の採光フィルムです。フィルムの内部に微細な凹凸をつけることにより、外光を天井などに効果的に反射・拡散させて明るい室内空間を実現。照明電力の削減・省エネルギーに寄与します。

リンテック流  
名言・格言集

自分を変える  
勇気さえあれば  
きつと未来も  
動き始める

持続可能な社会の実現に向けて  
私たちが変わり続ける

リンテック株式会社

## 3月 March 掲載広告

今年度は、皆様の暮らしを豊かにする当社の製品や技術を紹介してきました。目まぐるしく変化する環境の中、私たちはこれまで培ってきた知見をベースに独自技術を進化させ、新たな成長に向けて変わり続けることで長期ビジョンに掲げる持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは  
こちらのサイトで  
御覧いただけます

**DREAM  
FACTORY**

[www.lintec.co.jp/dream/ad](http://www.lintec.co.jp/dream/ad)

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	187,008	170,098
固定資産	115,729	110,164
① 資産合計	302,738	280,262
流動負債	76,654	63,506
固定負債	19,125	19,406
② 負債合計	95,780	82,912
③ 純資産合計	206,957	197,350
負債純資産合計	302,738	280,262

### 四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
④ 売上高	191,245	171,768
売上総利益	50,149	42,388
販売費及び 一般管理費	32,378	30,687
⑤ 営業利益	17,770	11,700
経常利益	18,558	11,454
税金等調整前 四半期純利益	18,828	11,484
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,373	7,936
四半期包括利益	18,522	6,003

### ■ ポイント!

#### ① 資産合計

「のれん」などが減少しましたが、「棚卸資産」「流動資産その他」「有形固定資産」などが増加したことにより、総資産は224億75百万円増加しました。

#### ② 負債合計

「長期借入金」「未払法人税等」などが減少しましたが、「流動負債その他」「支払手形及び買掛金」などが増加したことにより、負債は128億68百万円増加しました。

#### ③ 純資産合計

自己株式の取得などによる減少がありましたが、「利益剰余金」「為替換算調整勘定」などが増加したことにより、純資産は96億7百万円増加しました。

#### ④ 売上高

収益認識会計基準の適用により、オプティカル材事業部門が大幅に減少しましたが、アドバンストマテリアルズ事業部門が好調に推移したほか、そのほかの事業部門も需要が回復したことなどにより、売上高は194億76百万円増加しました。

#### ⑤ 営業利益

電子・光学関連の増益に加え、印刷材・産業工材関連が黒字化したことなどにより、営業利益は60億69百万円増加しました。

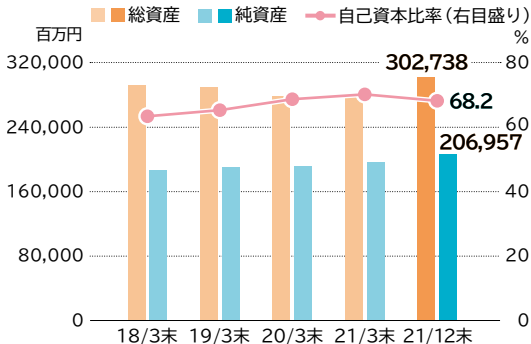
#### ⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

営業利益の増加に加え、為替差益や米国子会社買収に伴う負ののれん発生益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億37百万円増加しました。

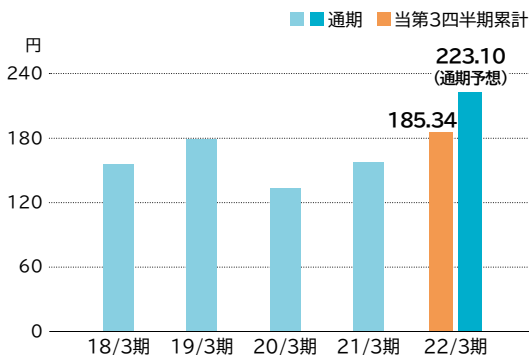
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	20,887	23,904
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,537	△6,057
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,973	△13,969
現金及び現金同等物の 四半期末残高	58,649	55,456

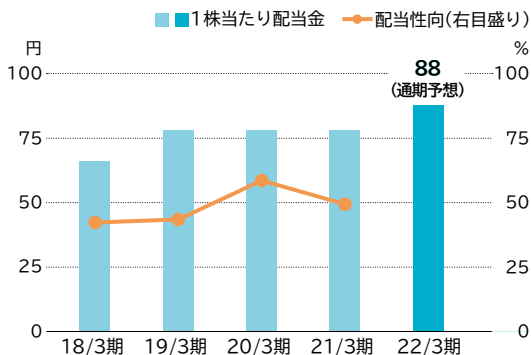
## 総資産・純資産・自己資本比率



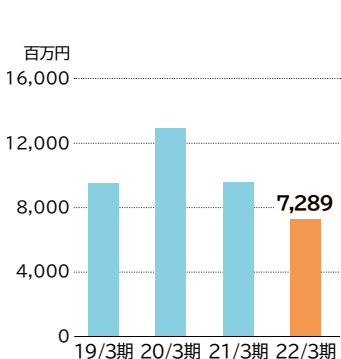
## 1株当たり四半期(当期)純利益



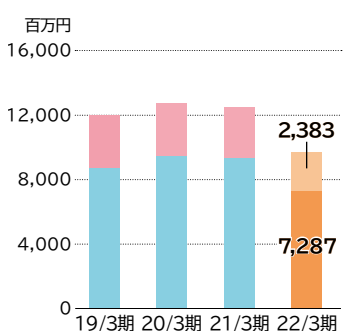
## 1株当たり配当金・配当性向



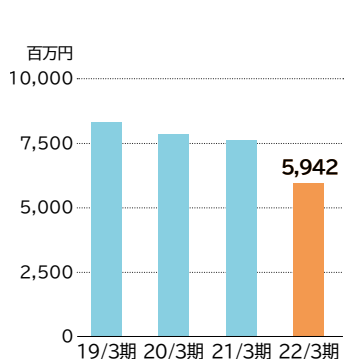
## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



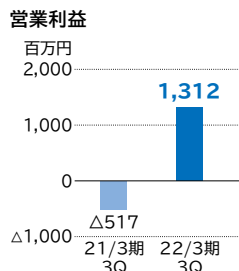
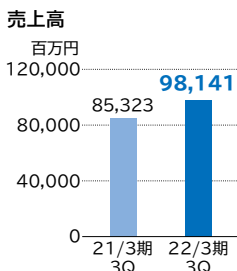
## 研究開発費



## 印刷材・産業工材関連

売上高 **981億41百万円** (15.0%増)

営業利益 **13億12百万円** (—)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**印刷・情報材事業部門** 売上高 **747億73百万円** (15.5%増)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では化粧品や飲料キャンペーン用などの需要が低調だったものの、食品や通販関連の需要が増加したことにより、粘着紙・粘着フィルムともに堅調に推移しました。海外では米国や中国、アセアン地域において好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



**産業工材事業部門** 売上高 **233億68百万円** (13.6%増)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム

国内外ともに自動車用粘着製品やウィンドーフィルム、装飾用フィルムなどの需要が大きく回復したほか、通販向け装置についても好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



※ 2022年3月期の期首よりマックタック・アメリカ社の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業部門へ移管しました。

※ セグメント別の営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

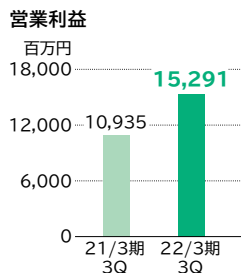
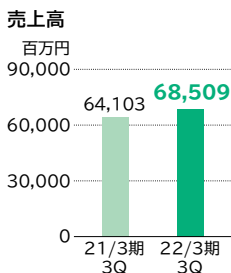
※ ( )内は前年同期比



## 電子・光学関連

売上高 **685億 9百万円** (6.9%増)

営業利益 **152億 91百万円** (39.8%増)



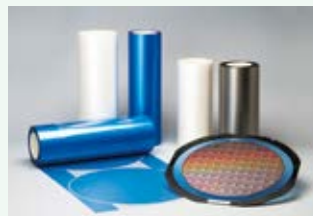
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**アドバンスマテリアルズ事業部門** 売上高 **505億20百万円** (27.2%増)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは、5G対応のスマートフォンやカーエレクトロニクス用、テレワーク拡大に伴うパソコン用などの需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



**オプティカル材事業部門** 売上高 **179億89百万円** (26.2%減)

### 主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビやパソコン、スマートフォン用などの需要が増加したことにより堅調に推移しました。なお、収益認識に関する会計基準適用の影響を受け、当事業部門の売上高は前年同期に比べ大幅に減少しました。

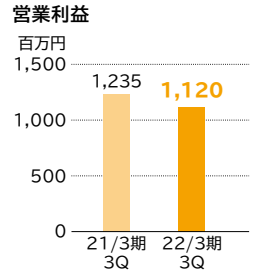
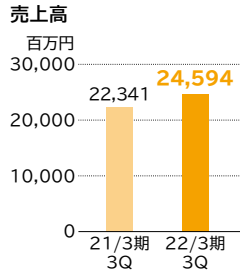


※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第3四半期の実績は組み替えて記載しています。

## 洋紙・加工材関連

売上高 **245億94**百万円 (10.1%増)

営業利益 **11億20**百万円 (9.3%減)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

### 洋紙事業部門 売上高 **112億72**百万円 (7.9%増)

#### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙

主力のカラー封筒用紙が堅調に推移したほか、クリーンルームなどで使用される工業用特殊紙やファストフード向け耐油耐水紙の需要が回復しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



### 加工材事業部門 売上高 **133億21**百万円 (12.0%増)

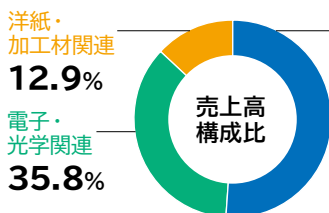
#### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は車両用の需要が大幅に回復しました。また、スポーツ・レジャー用の炭素繊維複合材料用工程紙や光学関連製品用剥離フィルムも順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



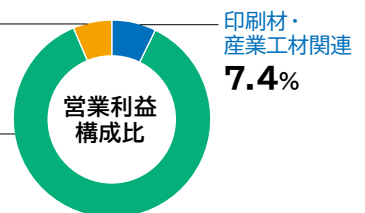
※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第3四半期の実績は組み替えて記載しています。



印刷材・産業工材関連 **51.3%**

洋紙・加工材関連 **6.3%**

電子・光学関連 **86.3%**



# 株式情報 (2021年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	71,042,700株
単元株式数	100株
株主数	6,358人

## 自己株式の取得状況について

当社は株主還元の充実と資本効率の向上を目的に、昨年11月9日から今年の8月末までに400万株、または120億円を上限とする自己株式を取得します。2022年2月末時点の取得状況は以下のとおりです。

(1) 取得した株式の総数	2,499,000株
(2) 取得価額の総額	6,538,036,500円

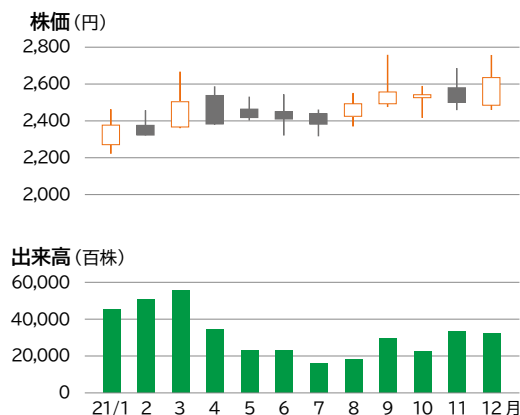
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,617	30.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,169	10.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,469	4.88
全国共済農業協同組合連合会	2,610	3.67
庄司 たみ江	1,796	2.52
株式会社かんぽ生命保険	1,715	2.41
リンテック従業員持株会	1,125	1.58
塩飽 恵以子	1,043	1.46
塩飽 一誉子	803	1.13
庄司 早木子	797	1.12
庄司 光江	797	1.12

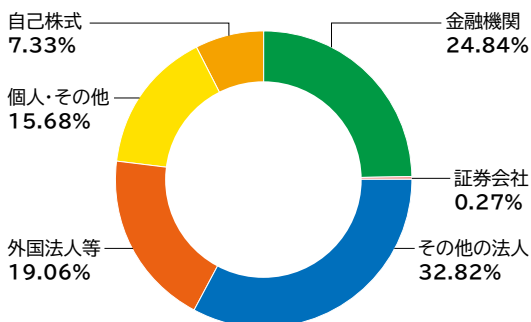
注1. 当社は自己株式5,616,740株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2021年1月~12月)



## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2021年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社	東京都板橋区本町23-23
設立	1934年10月15日
資本金	233億2,095万411円
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 4,913人 単体: 2,618人 (2021年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 39社

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に  
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座  
管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス  
www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL www.lintec.co.jp

IRメール配信サービス  
のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするためにIRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。

[www.lintec.co.jp/ir](http://www.lintec.co.jp/ir)



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジ(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

発行 広報・IR室 2022年3月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754